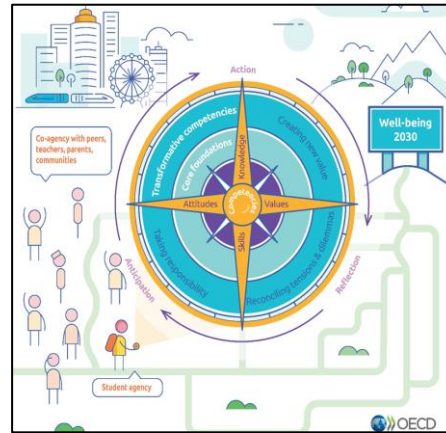
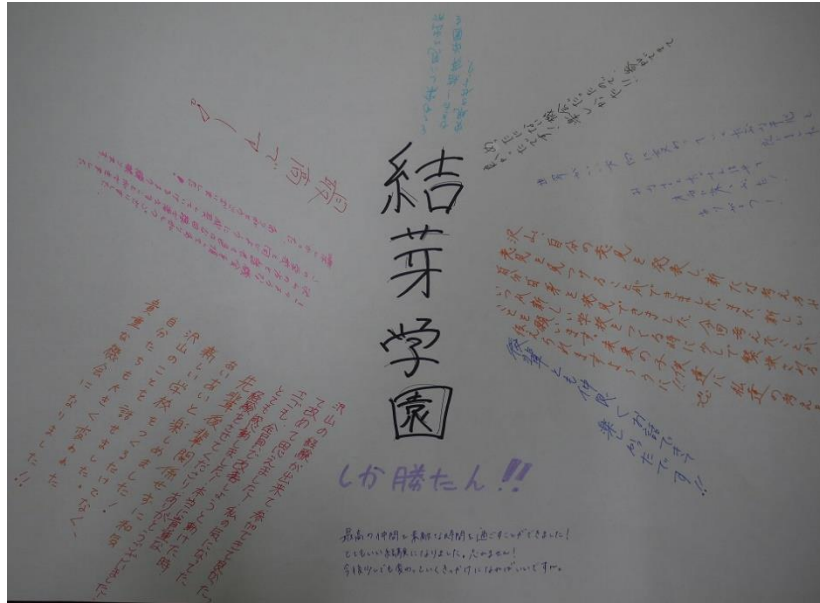


佐野日本大学高等学校
「新しい学校を作ろう！」プロジェクト

X

OECD「未来の
教育スキル
2030」プロジェ
クト

= 更なる問い



Miho Taguma
Senior Policy Analyst
Directorate for Education
and Skills
OECD

更なる問い

= 「結芽学園」の内容を、OECDラーニングコンパスのコンセプトで紐解きながら・・・

X 「講評」ではなく

○ 「問い続けて欲しい」という願いを込めて

OECD FUTURE OF EDUCATION AND SKILLS 2030



OECD Learning Compass
Multi-stakeholders from more than 50 countries discussed and agreed on the types of competencies today's students need to thrive in and shape a better future in 2030.

OECDラーニングコンパス
OECD加盟国を含む50各国以上の国と地域からマルチステークホルダーが集まり、未来を創造するために必要なチカラ（資質・能力）を合意

育てたい児童・生徒像

自分に対して

個性が輝いている 常識を持っている
自分らしさを大切にする
要領よく行動できる

人に頼る

肯定感:

社会に

る

他者に対して

距離感 偏見 ほめる+注意する

自分の意見 言葉にする力

[illegible]

「一人ひとりが輝ける、主役になれるような校則」

[illegible]

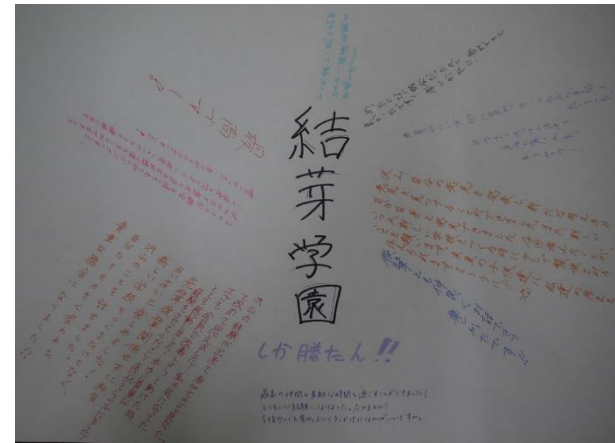
みなが共感した生徒像

【答えのない問題も自分なりに考えて答えにたどり着ける生徒】

社会には答えがない問題がいっぱい

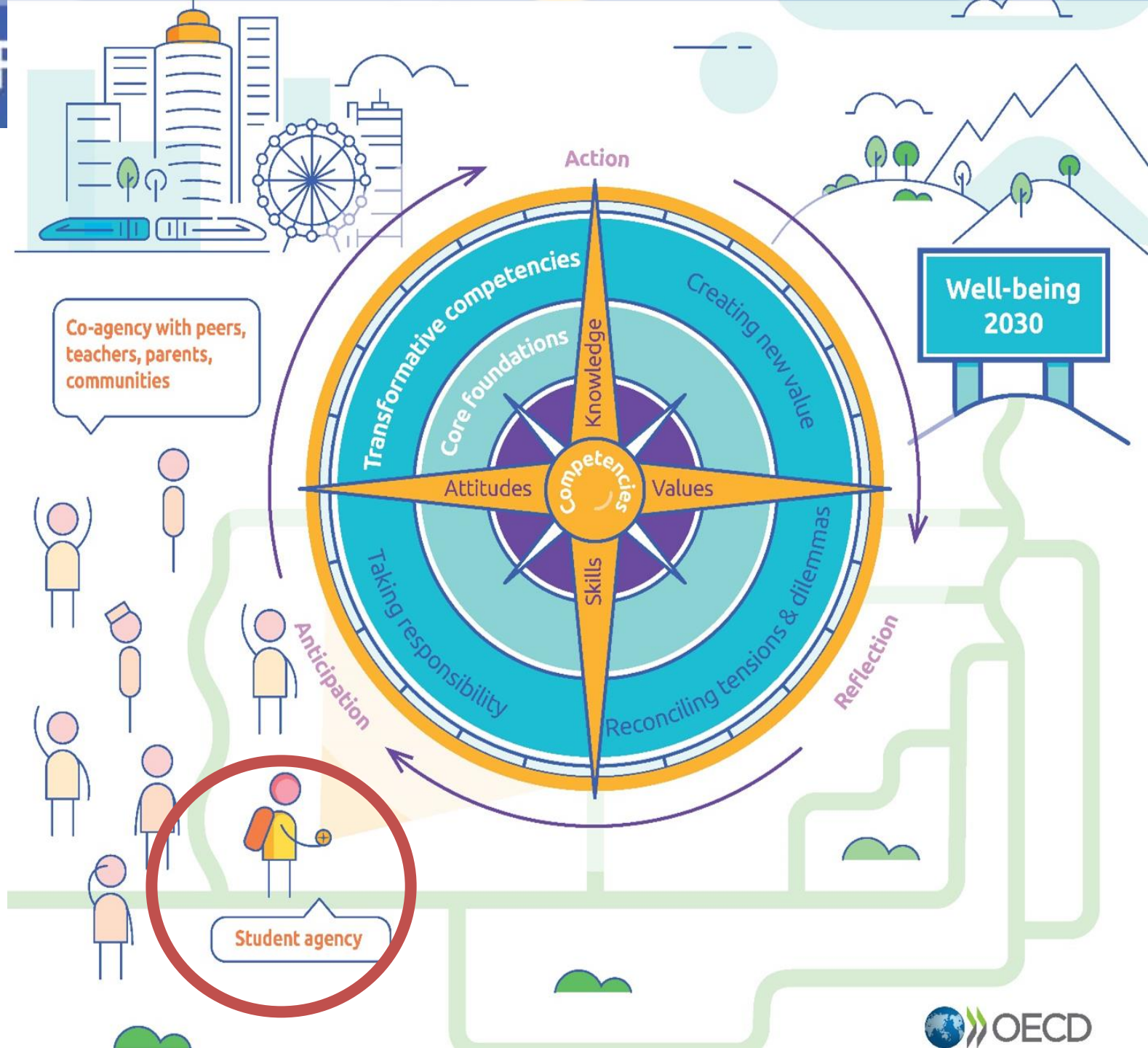
【まっすぐな生徒】

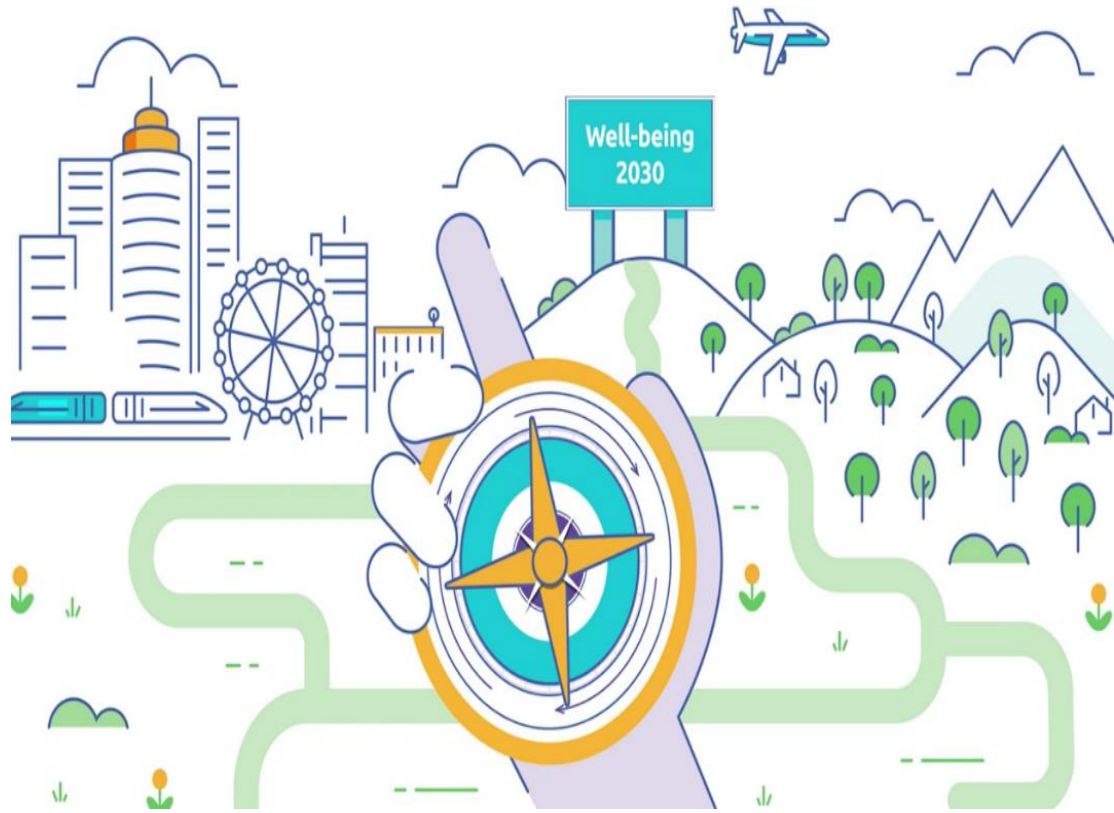
自分の軸を持っており、周りの意見を受け入れる



Student agency

- より良い未来を創る主体
- 個人の尊厳・権利の主体
- 意味付け・価値づけする主体





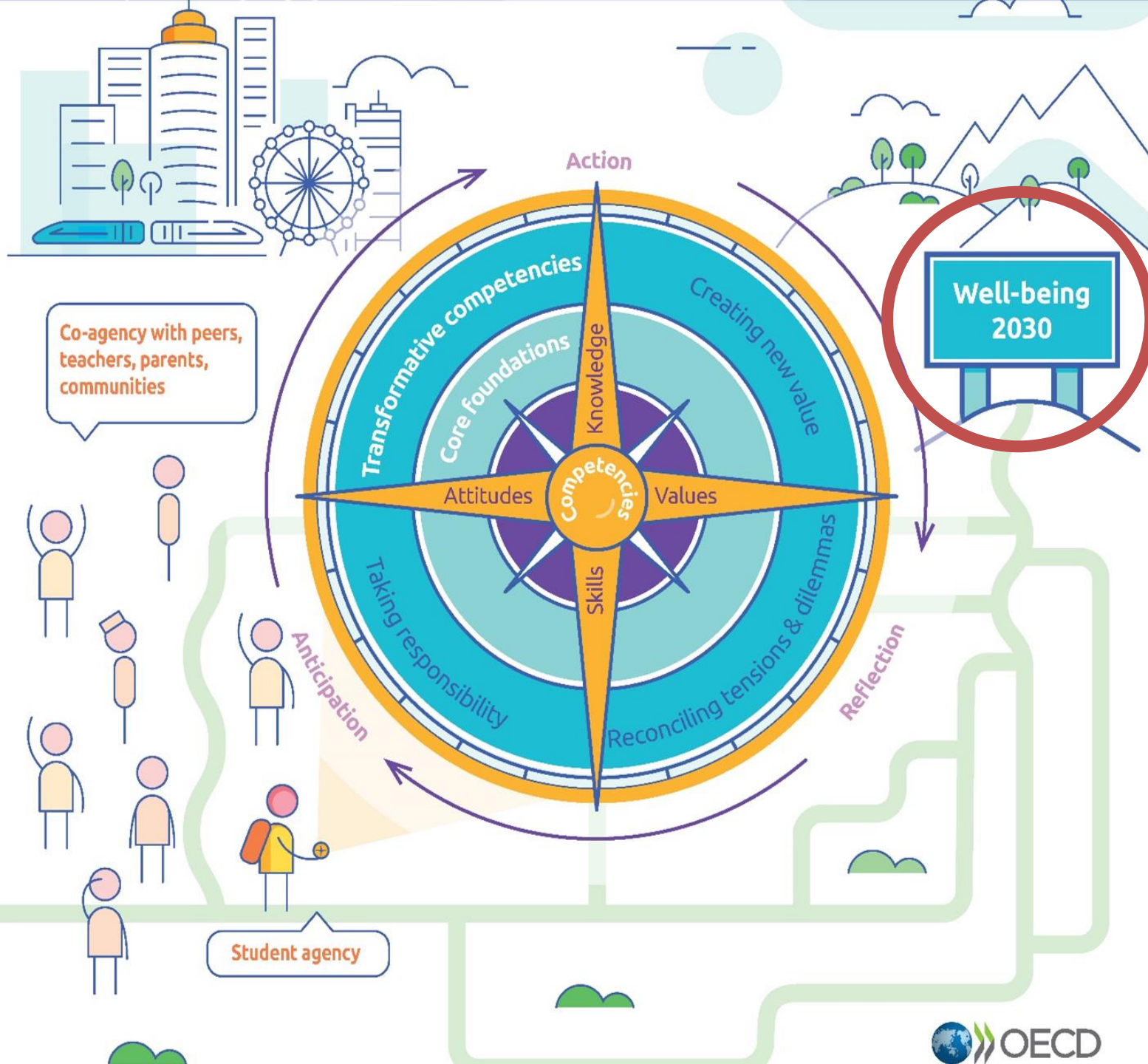
- 働きかけられるというよりも**働きかける**こと
- 型にはめ込まれるというよりも、自ら**型をつくる**こと
- 他人の判断や選択を受け入れるのではなく、**責任のある判断と選択**を自らが行うこと。

ラーニングコンパス 2030

解のないVUCAな社会の中で、自らの道を自らで切り開く

より良い未来を当事者として創る

- 自分の人生、および周りの世界に対して**良い方向に影響を与える**能力や意思があると信じることができる
- そういった変化を起こすために、**目的を設定し、振り返りながら責任ある行動**をとる能力



どこへ向かうのか？

Well-beingの実現

Well-beingとは？

Why 'well-being'?

「豊かさ」の問い直し

* Well-beingを実現できる未来への探求 *



Redefining Growth

“成長”の再定義

「経済成長(より良い経済)」から
「包括的成長(より良い生活)」へ



UN. MDG to SDG

「ミレニアム開発」目標から
「持続可能な開発」目標

WORLD
ECONOMIC
FORUM

Great Reset of Capitalism

ダボス会議

資本主義の問い直し



What is Well-being? - より良い経済？経済含めより良い生活へ

物質的な豊かさ

- 収入
- 雇用
- 住居

生活の質の豊かさ

- 健康
- 教育
- 環境
- 幸福度
- 安心・安全
- ワークライフ・バランス
- つながり
- 市民参画

個人の
well-being

社会全体の
well-being

・ 経済資本

- ・ ソーシャル・キャピタル
(社会資本)
- ・ 人的資本
- ・ 自然資本



Natural Capital



Human Capital



Economic Capital



Social Capital

‘Future We Want’ in the OECD Learning Compass



時間の関係上、未来に関する1つの焦点！

- **校則**について
- 評価について
- 配慮の必要な生徒への対応について
- 佐野市との連携について
- 特徴的な教育法について
- 育てたい生徒像について
- 学校の名前について

●社会性・常識を身に付けさせるための校則

③社会に出た際

「ルール（根拠のないものも含め）」

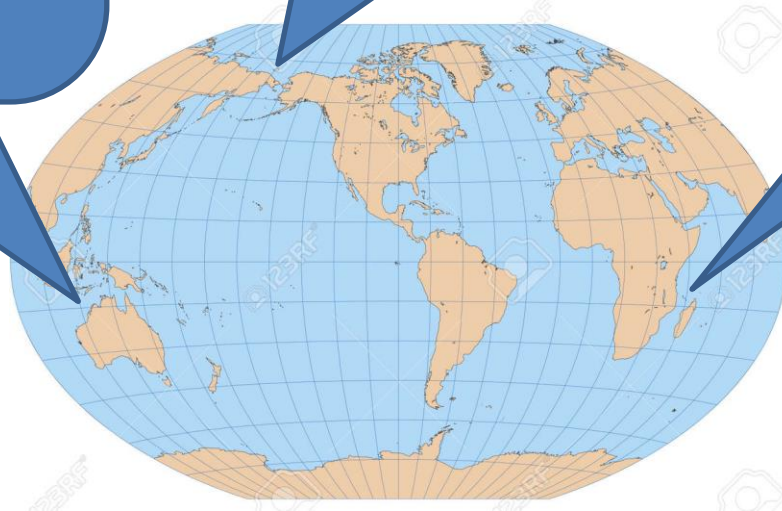
を守れるようになるよう、練習をするため

他国の生徒の問いを想定・・・

ルールは「守るもの」になる前に、自分たちで「作るもの」ではないのですか？

今の社会の常識は、未来の常識ですか？

今の社会の常識が、「根拠のないもの・理不尽・不条理」な場合でも、守れるように練習する必要がありますか？



今の社会を見てみよう！



ものづくり白書 2019

日本のものづくり企業の課題と目指すべき方向性

ものづくり産業の振興を考える上では、『ものづくりの中核である「モノ」』『**社会の「ルール」**』『ものづくり産業を下支えする「組織・人材」』の**要素を検討する必要がある。**

社会の「ルール」 	
課題	■ 世界的課題に取り組んではいるものの、CSRの一環に留まっており、ビジネス課題が不十分
	■ チャンスをつかむための環境づくりとしての標準化活動にて、他国と比べて民間ベースでの動きが弱い
方向性	■ 社会的課題に目を向け、日本の強みを活かした事業を展開し、新たなビジネスチャンスをつかむ
	■ 標準化の動きはドイツに倣い、企業から積極的に標準化を行っていく
	■ 新規分野のルールメイキングを早期から検討



日本の社会の well-being ・
Better Life (より良い暮らし) 指標

Stakeholder engagement for developing
regulations

ステークホルダーによる規制・基準づくりへの参画
40か国中34位

- ルールは、「作るもの」という時代
- 常識を「超える」必要性が出てきた時代

Creating new value 新しい価値を創造する チカラ

新しい価値(広い意味)
- 新しいルール、新しいサービス、新しい生活様式、新しい考え方、新しい商品等

校則：精神的なルール④挑戦しよう！

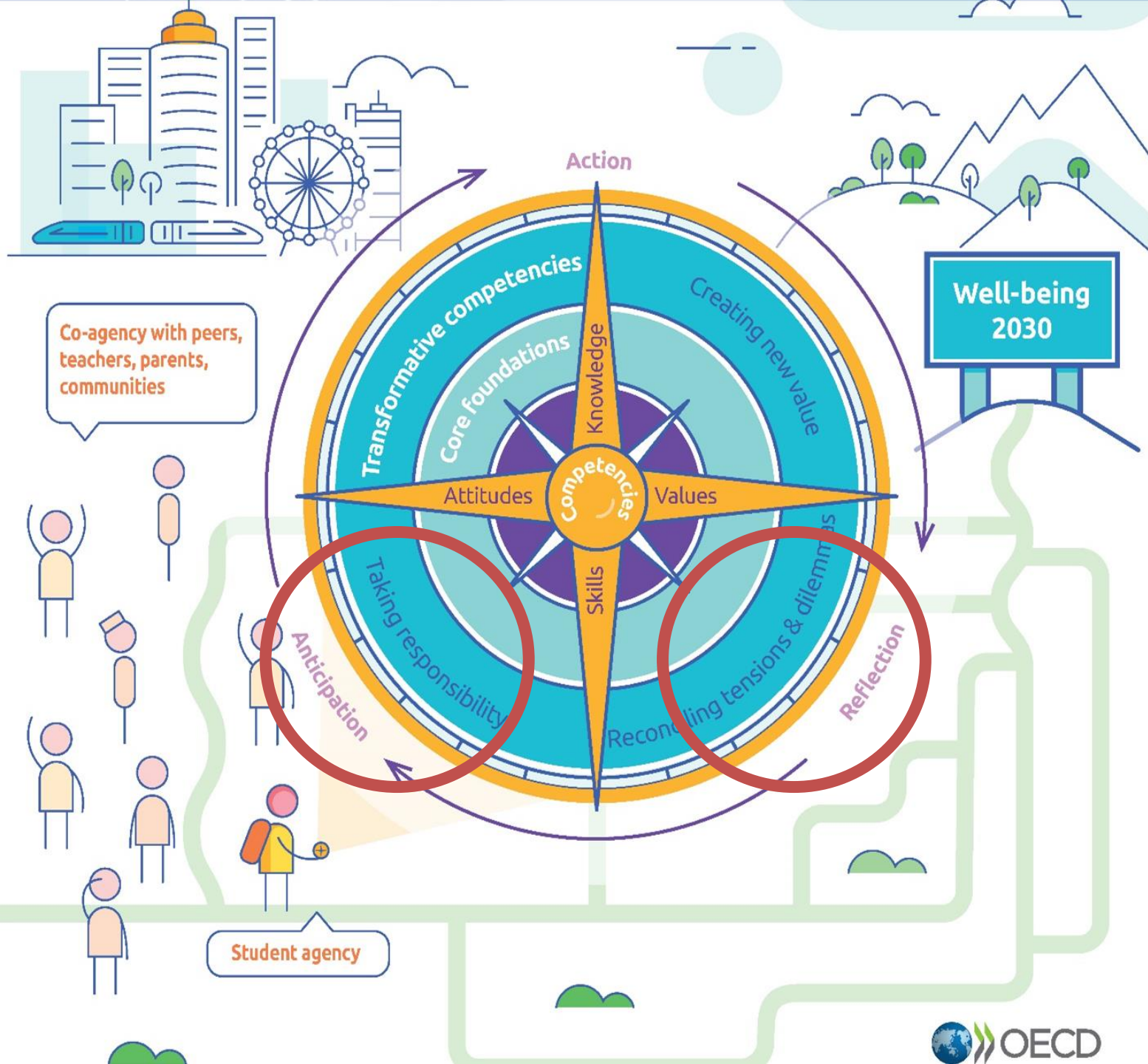
- 恐れず飛び込んでみよう！
- 新しいことに立ち向かおう！
- たくさん失敗してみよう！
- 常に疑問を持っていよう！

Student agency

新しい価値を創造する際の留意点

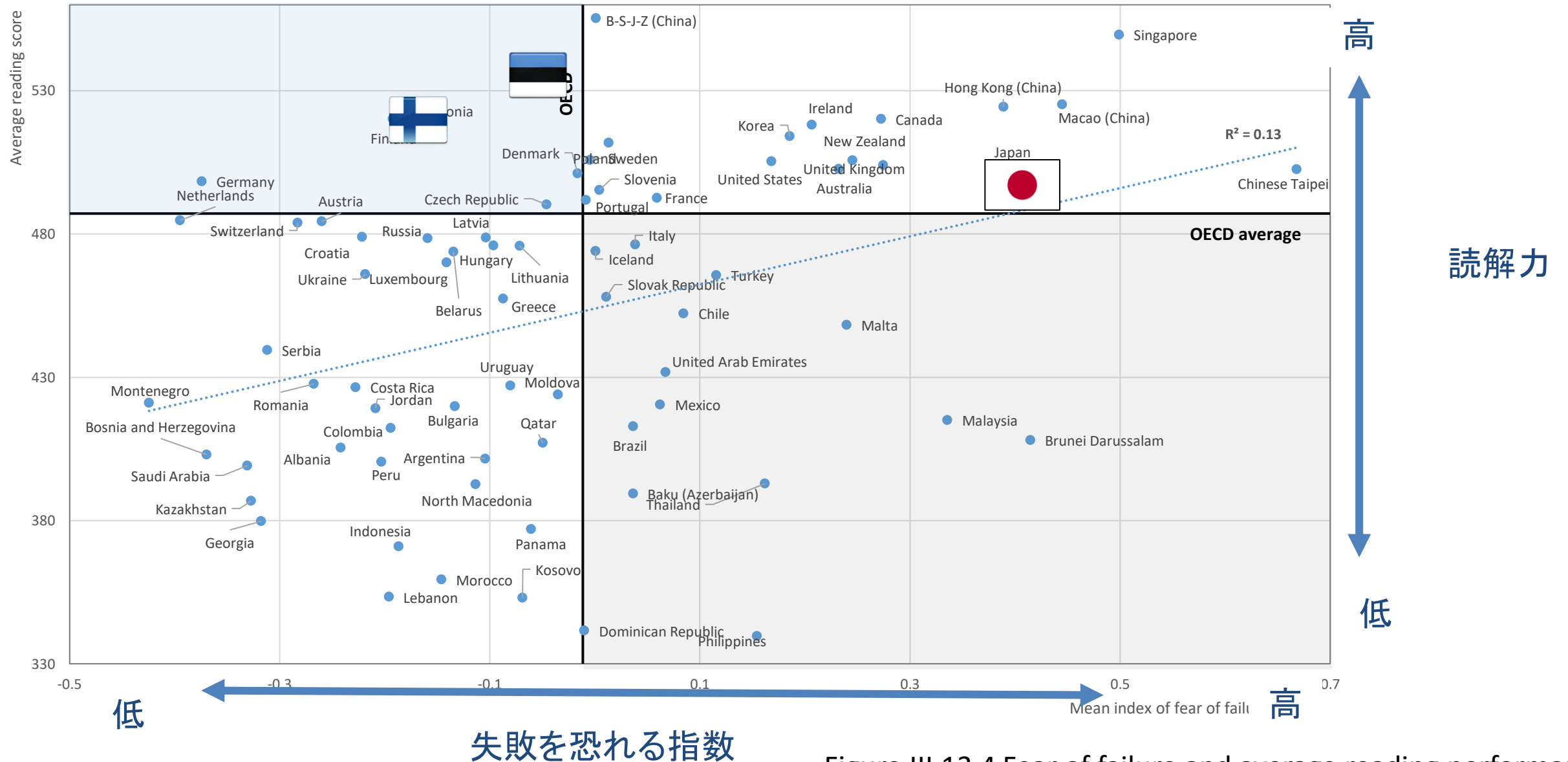
以下のチカラも同時に必要

- 責任をとるチカラ
(倫理観・道徳観・哲学)
- 対立・ジレンマを乗り越えるチカラ



新しい価値を創造するには、失敗をおそれてはいけませんが...

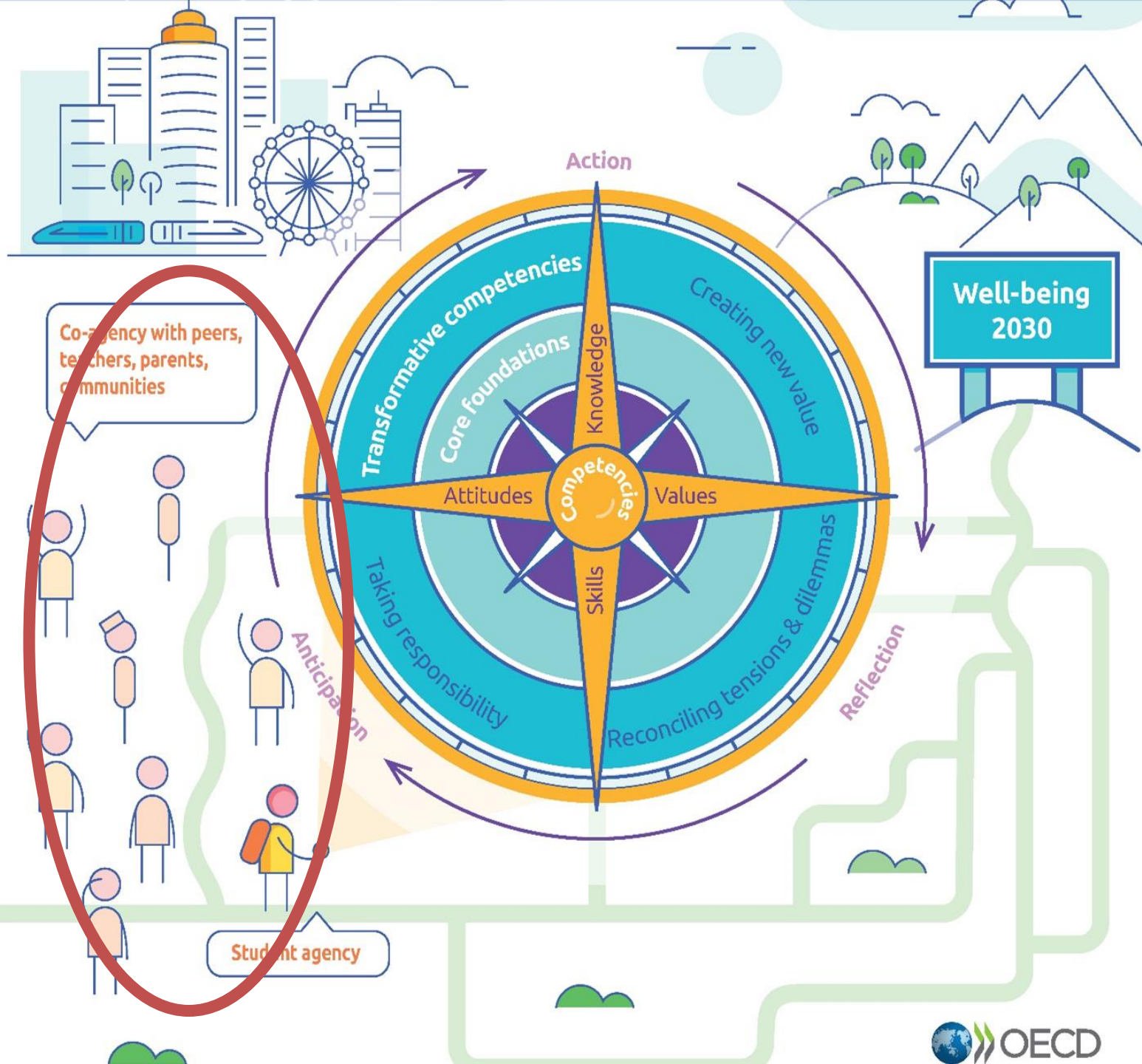
日本の生徒は、読解力は高いが、失敗を恐れる指数も高い。



Co-agency

一人で学んでいるだけではなく、周りの環境、教師・同級生、親、先輩・後輩・家族・地域の大人など、色々な人と交わりながら学んでいる

また、生徒と関わった人たちも、大人も含め、ともに学んでいる
(互恵的な学びの関係)



大人は、生徒・子どもたちと、一緒に、何ができるか？

E2030会議の大人議論

- 自らの世代で社会の様々な課題に対する解を見いだせなかった・課題を次世代に残しているという自覚
- 未来を「あなた達に託します」と言わず、立場を越えて、子ども・生徒たちと一緒に汗をかき、より良い未来を創る責務と覚悟が必要
- 子どもたちのように、大人もキラキラ輝く！大人Agencyは？

